

「中小企業の働き方改革の現状と取り組み方」

講演会開催!



中小企業を中心に深刻化している過重労働や人手不足などの問題。当法人は問題改善に向け、1月25日(木)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて講演会を開催しました。元行政官の古山善一氏と心理コンサルタントの晴香葉子氏を講師にお迎えし、中小企業が働き方改革を推進する必要性やメリット、導入時のポイントについて語っていただきました。

第1部

中小企業の働き方改革の現状と取り組み方 ～過重労働解消、人手不足解消～

近年、過重労働や人手不足解消の大きなカギとして注目を集めている「快適職場づくり」。中央労働基準監督署で署長を務めていた古山善一氏は、労働時間の短縮や賃金アップの必要性を説くとともに、「金銭による報酬よりも、職場の人間関係やコミュニケーションのほうが人材の定着において重要な要素になっている」と分析します。

さらに、「魅力ある職場をつくることは、従業員の働く意欲と生産性を向上させ、ひいては企業の経営力や効率の向上にもつながります」と、快適職場が中小企業の成長に与える影響についても言及。近年は特に、メンタルヘルスの問題を起ささないような体制づくりが求められているといいます。その第一歩として管理職が意識すべきことが「挨拶」「声かけ」「聴く」「つなぐ」の4つです。

「まず、率先してほしいのが『挨拶』。挨拶が飛び交う職場では、メンタルヘルスによる不調は起こりにくいといわれています。次に、日常的な『声かけ』によって、従業員の状況に常に關心を持っていることを示しましょう。もし従

「快適職場づくり」が社員の意欲をUP！
 中小企業にこそ必要な取り組みです



講師
 古山善一氏
 元中央労働基準監督署長・東京産業保健総合支援センター労働衛生関係法令相談員。

業員が相談してきたら、とにかく真摯に『聴く』こと。相談内容が自分だけで解決できない場合は、産業保健スタッフなどに早めに相談してください。不調者を放置せず、また深入りして共倒れにならないように『つなぐ』ことも大切なのです」

従業員のメンタルヘルスを把握することは、企業のリスクマネジメント上、必要不可欠なもの。一人ひとりの働きがいや満足度が高まれば、自然と職場は活性化し、他社にはない実力が備わって、企業の成長における大きなパワーになることが期待できるでしょう。

まとめ

- 人材の定着には、人間関係やコミュニケーションが重要
- 「快適職場づくり」は、労働者の働く意欲を高め、企業の経営力を向上させる
- メンタルヘルス不調を出さないために、「挨拶」「声かけ」「聴く」「つなぐ」を徹底する



豊富な実体験を交えた古山氏の話により、多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。



第2部

強くてハッピーなチームをつくる、伝え方・受け取り方

「近年、就労スタイルの多様化で人材の入れ替わりが激しくなり、悩みを抱えていても相談できず、メンタルヘルスに支障をきたす従業員が増えています」

そう警鐘を鳴らすのは、心理コンサルタントの晴香葉子氏。中には長期的に職場を離れるケースもあり、従業員はもちろん、企業側の負担も増えています。特に管理職は、従業員が気軽に相談できるような信頼関係を築くよう、日頃から意識しなければなりません。

「信頼関係を築く第一歩は笑顔。賃金や待遇と同様に、人材も職場環境の一部なので、笑顔でいるだけで自然と心地よい職場に感じられるでしょう」と晴香氏。また、チームの絆を高めるコミュニケーション方法の一つとして、「1分の雑談」が効果的と語ります。

「出勤や移動時などで顔を合わせたら、ひと言でもよいので雑談をしてみてください。短い時間でも、こまめに何度も会話を交わすことで関係性が強まり、チームの生産能力も向上しますよ」

さらに、従業員自身もストレスの対処法を知ることが大切だと指摘します。「全てのストレスが“悪”というわけでは

ストレスは“悪”ではない！
 上手に付き合えばやがて絆の強化につながります



講師
 晴香葉子氏
 作家、心理学者、心理コンサルタント。メディアでの心理解説実績や著書も多数。

ありません。むしろ、ほどよいストレスは、仕事の原動力やストレス免疫の向上、仲間との絆の強化につながります。重要なことは、ストレスと上手に付き合っていくことなのです」

仕事上のトラブルや人間関係などにストレスを感じた時は、まずは“ありのまま”を受け入れること。「このストレスは自分の糧になっている」と肯定するだけで意欲が高まり、驚くような実力を発揮できるといいます。

「気持ちよく働ける職場づくりのために、ぜひストレスの正しい知識や受け止め方を社内に周知してみてください」

まとめ

- 就労スタイルの多様化により、悩みを相談しにくい状況が生まれている
- 笑顔は社会的な絆を生み、短い時間の会話でチームの関係性を高め、(仕事の)生産能力を向上させる
- ほどよいストレスは意欲を高め、仕事の効率を高める



隣り合った人同士で行われたワークショップでは、笑顔が交わされる場面も。

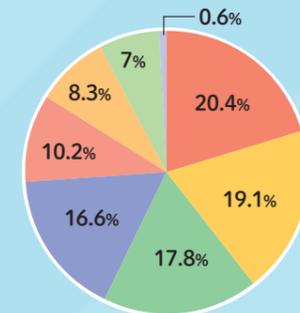
参加者VOICE

賃金をなかなか上げられない状況で、社員のモチベーションをどう上げればよいのか大変参考になった。自分だけでなく、社員の意識も変わるように、積極的に声かけなどを行っていききたい(サービス業・社長/男性)

メンタルヘルス対策に取り組んでいるところだが、コミュニケーションの重要性について改めて勉強になった。ストレスに対する認識も変わったので、早速周囲に呼びかけようと思う(食品販売業・社員/男性)

残業が多い職場なので、社員の定着や意欲向上のために何かできないかと思い参加しました。チーム力を高める方法や社内のコミュニケーションの取り方も実践的で、すぐに活用できそうです(製造業・総務/女性)

関心の高かったテーマ (複数回答可)



- 従業員モチベーション向上
- 職場でのコミュニケーション術
- メンタルヘルス
- 働き方改革～仕事の効率化
- 労務管理の基礎
- 人手不足解消に向けたAI活用
- 最近の労働災害事例とその防止策
- その他